

司法書士グループインタビュー統合分析結果

カテゴリー	サブカテゴリー	自死対策WGのグループ	広報委員会のグループ	市民救援委員会のグループ
自殺(未遂者)へのかかわり	防げなかった自死	かかわった多重債務者の自殺 司法書士が抱える自殺案件や未遂案件	理由のわからない突然の自殺	妻を亡くした男性の突然の自殺 年間何人かはかかわる
		同業者の補助者の自殺 自分の命と引き換えに借金をゼロにする多重債務者の存在	体で、命でお金を払うような自殺	何かあると自分の命で責任をとるといふか、解決するという風潮
	予測できない苦渋	顧客の自殺に対する自責感	(自殺の)兆候が実際にわからない	事前の発見は困難 自殺したいと言われても具体的に助けることはできない 司法書士に何ができるのか
	自死遺族への支援	自死遺族の心の痛みへの共感 自死遺族への借金の取り立てに対抗するために組織を設立	悩む自死遺族への対応	遺族支援の必要性
	個別の対応		意志の疎通のできない家族への支援	受診後に相談につなげた事例 身寄りのない自殺者の死後の財産管理 専門機関の紹介
	相談者の現状と取り組みへのニーズ	訴えを傾聴することの重要性	解決なのかどうかはわからないが、聞くお金の問題は解決できると伝えること	半数が死を考えている 相談によって好転
中心的に活動している司法書士とのかかわりからワーキングに参加 対応への関心と連携の必要性		他業種の専門家につなげるシステムの必要性	孤独に陥らない支援の必要性	
自殺(未遂)者をめぐる現状	自殺(未遂)者をめぐる現状		世の中全体の閉塞感 複雑化する自殺の原因	奥が深い自殺の問題
			人間関係が希薄	多重債務者の孤独
		生活保護決定までの間の生活支援 多重債務者にもなれない人の増加	自殺の連鎖・後追い	ギャンブル依存、アルコール依存の相談
精神保健福祉士への認識	精神保健福祉士の周知		何も知らないというのが正直なところ 名前は知っていた	名前も知らなかった 名前のみ知っていた
		精神保健福祉士の正確な名称がわかっていない	近い福祉職の名前がたくさんあり混同	他職種との混同

カテゴリー	サブカテゴリー	自死対策WGのグループ	広報委員会のグループ	市民救援委員会のグループ
		黒子的な活動がどっちかという中心	司法書士よりも知名度は低い	精神保健福祉士とのつき合いはなかった
	精神保健福祉士への認識	自死対策へのかかわりによって知った精神保健福祉士の存在 精神科病院における退院支援が主な役割 有効に活用されていない精神保健福祉士		自殺願望のある人と精神保健福祉士をつなぐ発想はなかった
精神保健福祉士とのかかわり	団体を通じた付き合い	学習会で講師として依頼		専門職が顔を合わせる勉強会
		自殺対策における包括支援相談会への参加		こころの健康サポートセンターの専門家の連携チームに精神保健福祉士も参加
		行政とギャンブル依存の自助グループでの付き合い	(ギャンブル依存症の)自助グループの集会で名刺交換	
	個人としてのかかわり	行政の相談窓口の精神保健福祉士との個人的な連携 生活困窮者の退院に関して、一緒に支援 個別のつながりはあっても、そこから広がらない関係性 自死対策でも、現場レベルではそんなにつき合いはない		
	成年後見関係での付き合い		成年後見人をしている精神保健福祉士を知っている程度	成年後見の研修会講師が精神保健福祉士 成年後見、運営監視合議体、並びに苦情解決合議体でのかかわり 成年後見人としての活動での付き合い
精神保健福祉士への期待	精神保健福祉士への期待	地域にどういう人がいるのか知りたい		かかわる機会をつくり、精神保健福祉士について知りたい
		身近に相談できるところとしての期待 生活保護申請窓口への精神保健福祉士の配置		精神保健福祉士の電話相談窓口の充実に期待
		コーディネーターとしての精神保健福祉士 企業における配置の必要性 災害・虐待・犯罪被害者支援などでの連携	専門的知識などの供与	精神保健福祉士が寄り添って支援することへのニーズ

カテゴリー	サブカテゴリー	自死対策WGのグループ	広報委員会のグループ	市民救援委員会のグループ	
司法書士のメンタルヘルス	世間の人が病んでいる世の中	世間の人が病んでいる世の中			
	司法書士等の自殺や廃業	うつ病による廃業 うつ病のきっかけとなった友人の死 補助者が自殺するということは、本職もそれなりに問題を抱えている	自殺者への共感	懇意にしてた司法書士の自殺 仕事を休む司法書士の増加 精神疾患で仕事ができない司法書士	
	仕事で感じるプレッシャー	仕事で感じるプレッシャー	仕事、将来への不安 できないことを恥じないこと 頼られることの負担 仕事なくなったら生活保護	孤独な仕事	
	疲労と精神的な不調	業務上、対立する人の出現による疲弊 業務にかかわることでの嫌がらせ	精神的な不調 客観的態度を保つ努力 共感しない、波長を合わせない自己防衛 悲しいことに引っ張られる面接後の疲労	精神的な不調に悩まされる睡眠の確保	
	精神的な健康を保つこと	司法書士のメンタル面を支援するシステムの必要性 自分たちのメンタルヘルスに役立つのちとこころのセミナー			メンタルヘルスに関する専門的知識の必要性
			ある意味適当さも必要 アルコールに逃げる	楽しんで忘れる ネットワークの活用によるストレスの軽減	
今後の連携	顔の見える関係づくり	お互いの存在を知ることからの連携 仕事のパートナーとしての精神保健福祉士	個々のレベルでの関係づくり 生活面のフォローに期待	顔の見える関係の構築 気軽に訪れることができる相談窓口の必要性	
	司法書士から精神保健福祉士へのニーズ		専門的な知識へのニーズ 相互の情報交換や助言へのニーズ	専門的な知識へのニーズ 司法書士のメンタルヘルスへの理解	
	相互のネットワークの構築	安心できるお互いのネットワークづくり 草の根レベルでの連携 フットワークのいい組織づくりの必要性	組織と個々のレベルでの連携 借金問題が解決するだけでは ない部分での協働	各県の単位会、支部とのつながり 地域におけるネットワークづくりの必要性	
	システムづくりへの参画	顔が見える関係で、包括的に支援できるシステムづくり	専門的なチームでのケア	予防支援の必要性と教育の必要性	
	その他の領域での連携	成年後見における精神障害に関する相談へのニーズ 退院後の生活支援や、自立支援までの連携の必要性		被災地での支援における連携	